

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部国際教養学科

学年：3 年

留学先大学：東フィンランド大学

現在の学期：春セメスター

時間割：週によって変動あり

曜日	履修科目名・時間等
月	08:15-09:45 Introduction to Finnish Educational Systems and School Life 14:15-15:45 Development Crisis and Globalisation
火	14:15-15:45 Development Crisis and Globalisation
水	
木	10:15-11:45 Boreal and Arctic socio-ecological systems
金	10:15-11:45 Boreal and Arctic socio-ecological systems
土・日	オンデマンド Finnish 1A: Introduction to the Finnish language オンデマンド Circular.now

履修科目や近況について

履修科目

履修科目はフィンランドのヨエンスー市での滞在を通して興味を持った事柄に関連するものをそれぞれ選択しました。他には Remote Sensing for Land Use and Land Cover Research、Exploring education in Finland from theoretical and practical perspectives の履修も検討していましたが、授業の兼ね合い等から履修しませんでした。

Introduction to Finnish Educational Systems and School Life はフィンランドの教育全般について学ぶ、初学者向けの科目です。授業は週に 1 回ですが、週ごとに実施の曜日は変化していました。レクチャー形式の授業ですが、先生の話す英語もゆっくりであるため聞き取りやすく、また授業中の質問も盛んに行われていました。オンラインでの期末試験が実施予定です。

Development Crisis and Globalisation は、開発問題をグローバルという視点から学びます。授業は週に 2 回、対面・オンラインの選択可能なレクチャー形式の授業でした。開発問題に関する基本的な概念

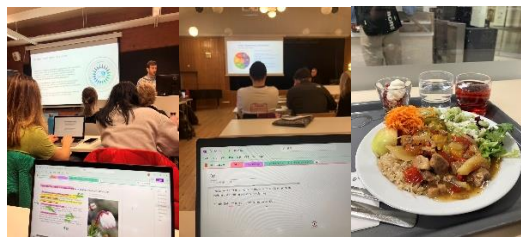
や考え方について、ソビエト連邦の支配地域から逃れてきた人々を先祖をもつ先生の経験を踏まえ、授業が展開されていました。A4の2枚の position paper と呼ばれるレポートを書く予定ですが、1人で書くことはもちろん、複数人で書くことも推奨されています。

Boreal and Arctic socio-ecological systems は北極圏とその周辺について地理的・生物的・社会的な視点から学ぶ、上級者向けの科目です。授業は週に2回ですが、週ごとに実施の曜日は変化していました。レクチャー形式の授業ですが、光合成「photosynthesis」、永久凍土「permafrost」など、かなりの英単語が初見では読めないことが多く、また一回の授業で50~70枚のスライド資料があり、授業後の復習がかなり大変でした。中間には4択のテストがあり、最終回はグループでプレゼンテーションを行う予定です。

Finnish 1A は、フィンランド語を学ぶ、初学者向けの科目です。オンデマンドで開講されており Minä olen (I am) などの基本的なセンテンスから学ぶことができます。セメスターの終わりまでにオンラインでのテストを受けることが求められています。

Circular.now は、循環型経済の視点から、持続可能な食料システム、森林ベースのサイクル、技術サイクル、交通とシェアリングエコノミーなどについて学ぶ、初学者向けの科目です。オンデマンド授業終了後には、エッセイの提出が予定されています。

学期後半には Critical Geography of the European Union、Food and society I を履修予定です。



授業風景。レクチャー形式であっても、学生が手を挙げると、すぐに先生が反応してくれます。学食は3€前後で美味しいご飯とパン食べ放題が楽しめます。

①生活面では、JOOJAKU という「日本文化をお互いに紹介する」ことを目的としたコミュニティに参加していました。ミーティングが週に1回、2時間にわたり、英語によって行われていました。フィンランドの方や学生と話す機会は意外と多くないため、日本人留学生にとっても貴重な体験だと思います。②また、SYKETTA という「スポーツコミュニティ」にも参加していました。1セメスターに20€か40€支払う必要がありますが、バトミントン・ヨガ・カーリングなどに1人でも友達と一緒に参加することができます。毎日、多様なスポーツが開催されているので、運動不足や友達作りにもオススメです。

③寮生活ですが、私の寮は大学からバスで15分のところにある「Latolankatu 9」という家具付き・シェアルームの物件に住んでいます。キッチン・シャワー・トイレが共用になっており、共有スペースの掃除は毎週ごとに担当を回しています。建物全体が温められており寒くなく、洗濯機も無料で週に2回ほど使うことができます。Latolankatu 9 は他の家具付き物件と比べた場合、自室がかなり広いこと、スーパーマーケットが徒歩10分であること、留学生がたくさん住んでいる、というメリットがあるかと思っています。

④フィンランドでは外食費が高だけでなく、冬は外に留まって何かすることが難しいです。そのため、私は友人たちと日本料理やサーモンスープなどを作るクッキングパーティー、アイスホッケーやサッカーの観戦、ヘルシンキやラップランドへの旅行、スケートやクロスカントリー、セカンドハンドショップやハイパーマーケットに行く、などをして過ごしていました。

① JOOJAKU と学部棟



② キッチンと洗濯室



③ ヘルシンキ旅行・クッキングパーティー・ヨエンスー市の景色

